

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 26.11.7 第 187 回国会第 6 号

11 月 7 日（金）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第 3 号）

- ・塩崎厚生労働大臣から発言がありました。
- ・安倍内閣総理大臣、塩崎厚生労働大臣、山本厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

田中英之君（自民）

- ・今回の改正案では派遣労働者の均衡待遇の確保が盛り込まれているが、「均等待遇」は盛り込まれなかった理由について伺いたい。
- ・今回の改正案は、正社員を希望する派遣労働者のニーズに対応したものとなっているか伺いたい。また、政府として、正社員化に向けた取組をどのように推進するのか伺いたい。
- ・派遣労働を臨時的・一時的な働き方とするの原則は今回の改正案でも維持されているのか伺いたい。また、維持されているのであれば、どのような形でその原則が担保されているのか伺いたい。

田畑裕明君（自民）

- ・日本経済を支える労働形態の一つとして、これまで労働者派遣制度が果たしてきた役割について伺いたい。
- ・労働者派遣事業を全て許可制とする理由及びその効果を伺いたい。
- ・期間制限の上限に達した派遣労働者に対する雇用安定措置義務の内容及び当該措置が実効性を伴うものとなるのかについて伺いたい。

古屋範子君（公明）

- ・マタニティハラスメントについて、法令順守にとどまらず実態調査や周知啓発など積極的な施策を講ずるべ

きではないか。

- ・悪質な派遣会社に対し、今回の改正案はどのような対策を取っているのか、厚生労働大臣に伺いたい。
- ・派遣労働者のキャリアアップのためには、教育訓練計画の作成義務を課すだけでなく、そもそも優良な派遣会社を育成することが必要と考えるが、行政の支援策について伺いたい。

（ここから内閣総理大臣出席）

高鳥修一君（自民）

- ・働くことを希望する者が活躍できる社会の実現に向けて、本法律案が多様な働き方の実現に資するのか、内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・政府として、正規雇用を望む派遣労働者の正社員化に向けた取組をどのように推進するのか、内閣総理大臣の見解を伺いたい。

古屋範子君（公明）

- ・派遣労働者の処遇改善のため、同一労働同一賃金の理想に近づけていくべきと考えるが、内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・長時間労働解消のため、労働時間の絶対上限規制やE.U加盟国で導入されているインターバル規制を検討すべきと考えるが、内閣総理大臣の見解を伺いたい。

（ここまで内閣総理大臣出席）